継戦能力の強化

◆現状、装備品の可動率改善は進捗しているが、事業撤退や国際情勢に連動したサプライチェーンリスクの表面化も相まって、一部の装備品の可動率向上に影響

◆ウクライナで見られるようにひとたび侵攻が生起すれば、**長期化する可能性**

◆平時に「**備える**」、有事に「**増産・修理・改良**」「**助ける**」「**同盟国・同志国**から調達」「**運ぶ**」ことで、継戦能力を強化

平時

十分に備える



自衛隊が粘り強く対応するために必要な物資を確保



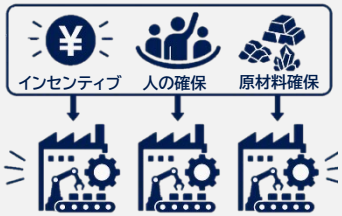
装備品の
非可動の解消



施設の強靭化
（地下化、抗たん化等）

有事

1 はやく増産・修理・改良する



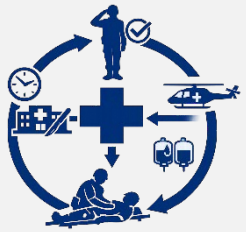
GOCOの活用、民生用製造ラインの防衛用途への転用等



ラピッド・イノベーション

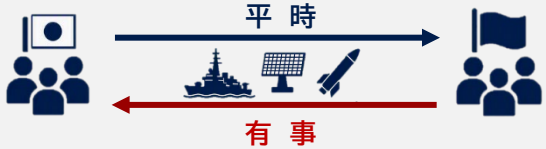
UAVをはじめ有事に
大量に緊急増産できる体制を構築

2 より確実に助ける



衛生機能の強化

3 同盟国・同志国から調達する



平時：装備移転の推進、海外生産・維持基盤の構築
有事：同盟国・同志国からの調達による確保

4 必要な場所に確実に運ぶ



無人化・省人化した
海上輸送力の強化

出典：防衛省資料「今後の防衛力強化の方向性について」（2026年11月）